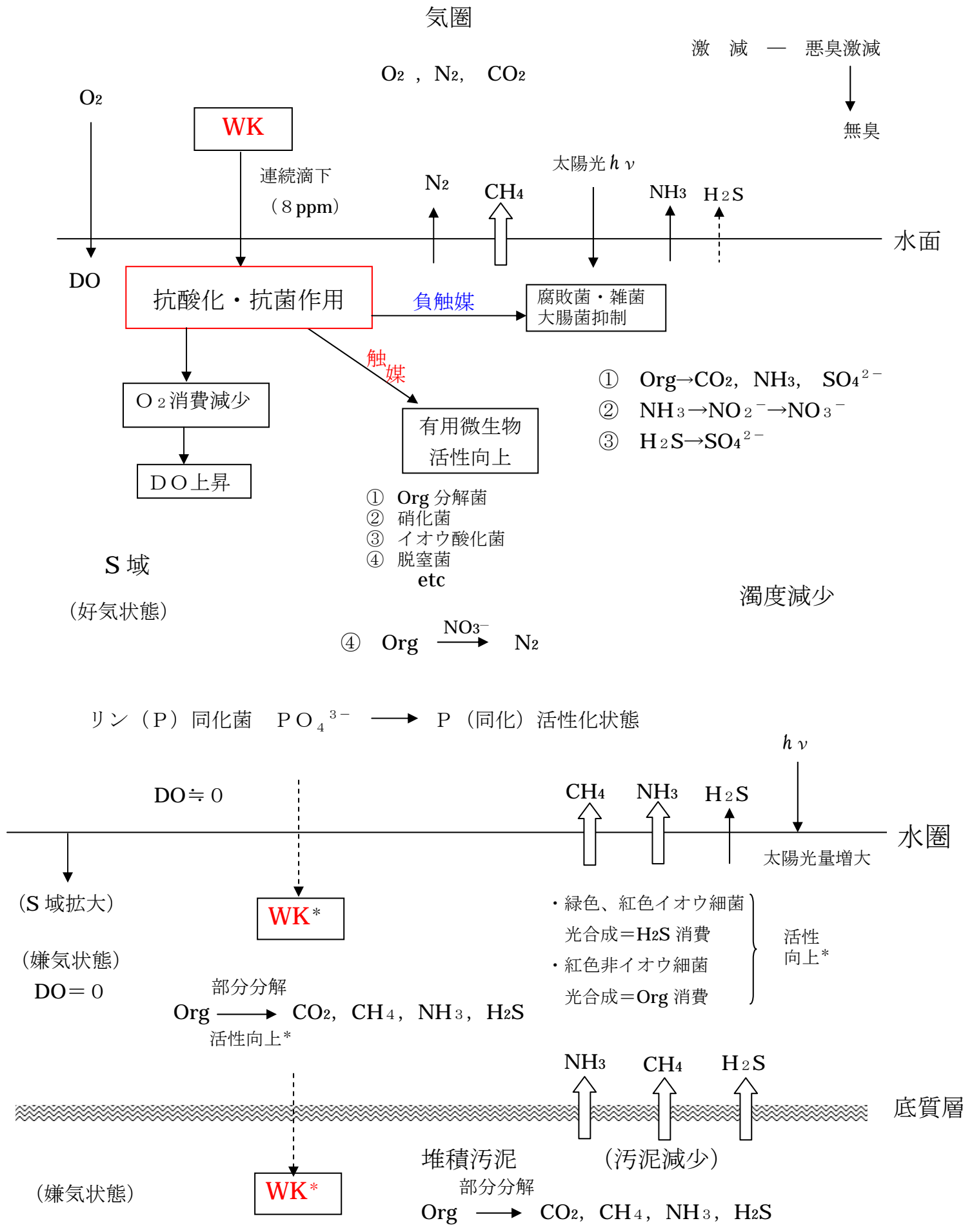


Phase2 (水質回復II)



ウオーターキーパー連続的添加に伴う水質回復期II (フェーズ2) (図3)

好気域および嫌気域に棲息する有用微生物の活性向上と腐敗菌・雑菌の活性低下がさらに進行する。

有機化合物完全分解が促進され、好気域はさらに拡大するとともに、濁度も減少する。

それに伴い、嫌気域の光合成細菌の活動が活発になり、硫化水素の消費増大と有機物の分解促進をもたらす。

この頃になると、気圏へ放散するアンモニアや硫化水素の濃度は激減し、臭いがしなくなる。

メタンの放散は依然として続くし、脱窒によって生成する窒素ガスの気泡の発生が旺盛なる。

また、堆積汚泥の分解がさらに進み、スカムの浮上が好気域に見られるようになる。このフェーズの後半には、藍藻類が生息するようになり、それによる光合成で酸素が発生し、DOレベルが大幅に向上する。

またリンも同化菌の活性化が見られ、富栄養化の抑制に向けた状態が現れ始める。

※ 図3. WK連続的添加に伴う水質回復期 II